



14

海の豊かさを
守ろう

15

陸の豊かさも
守ろう

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

2026年5月15日

株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ

京都大学の「ネイチャーポジティブ・エコノミー講座」へ寄附を開始しました

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ（岡山市 社長 加藤 貞則、以下「当社グループ」）は、京都大学に設置された寄附講座「ネイチャーポジティブ・エコノミー講座」の開設・運営にあたり、寄附を開始いたしましたのでお知らせいたします。

現在、世界規模で生物多様性の損失が急速に進行しており、「2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させる（ネイチャーポジティブ）」という国際目標の達成が求められています。この目標の実現には、民間企業による主体的な取組みが不可欠であるものの、自然環境は市場価格が存在しないため、生物多様性保全の経済的価値を定量的に把握することが難しく、企業による投資判断の障壁となっています。

本寄附講座では、企業と連携しながら、生物多様性保全の経済効果を定量的に評価する手法の開発に取組むとともに、生物多様性に配慮した企業経営のあり方に関する教育・研究がおこなわれます。これにより、企業の意思決定に資する実践的な知見を創出し、ネイチャーポジティブ経営の実現に貢献することを目的としています。

当社グループは、本講座への支援と得られた成果の地域への展開を通じて、生物多様性地域および社会全体の持続可能な発展に貢献してまいります。

■寄附講座の概要

大学・学部：京都大学大学院農学研究科

名 称：ネイチャーポジティブ・エコノミー講座

設 置 期 間：2026年4月1日～2031年3月31日（5年間）

運営委員長：栗山浩一（農学研究科教授）

寄 附 者：株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ

株式会社Cキューブ・コンサルティング 他

研究テーマ：生物多様性保全の経済効果を定量的に評価する手法の開発

■栗山浩一教授

京都大学大学院農学研究科 教授。環境経済学を専門とし、自然環境の経済評価、生物多様性の保全政策、国立公園・森林・河川流域管理政策、企業の環境対策の評価など幅広い分野での研究を実施。「日本林学会賞」「環境経済・政策学会学術賞」を受賞するなど、学術的成果に加え、政策形成への貢献においても高い評価を受けている。

以 上

本件に関するお問い合わせ先（TEL 086-223-3110）

サステナビリティ推進部 井 上（086-234-6351）

広報センター 岡 嶋（内線2255）